

社団法人 地盤工学会
技術普及委員会
平成21年度第2回議事録

| 日 時 | 平成21年 5月21日(木)14:30~17:00 | | | | | 会 場 | 地盤工学会会議室 | |
|----------------------|---------------------------|---|--------|-------|---|-----|----------|---|
| 委員長 | 古屋 弘 | ○ | 副委員長 | 小林 恒三 | ○ | 幹 事 | 原 忠 | ○ |
| 幹 事 | 竹山 智英 | × | 委 員 | 前川 太 | ○ | 委 員 | 白石 保津 | × |
| 委 員 | 石井 建樹 | × | 委 員 | 竹山 悦子 | × | 委 員 | 伊藤 和也 | × |
| 委 員 | 舟橋 景介 | ○ | 委 員 | 北田 貴光 | × | 委 員 | 谷本 俊輔 | × |
| 委 員 | 王 林 | × | 委 員 | 今井 優輝 | × | 委 員 | 水野 健太 | × |
| オブザーバー | 秦 樹一郎 | ○ | オブザーバー | 枋尾 健 | ○ | 事務局 | 古藤田 純 | ○ |
| ○：出席 ×：欠席 △：未定 | | | | | | | | |

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (別添資料1)
舟橋委員が指名された
2. 前回議事録の確認(4/2) (資料21-2-1)
前回議事録(伊藤委員担当)が了承された
3. 第8回事業部会報告(議事録)(4/21) (資料21-2-2)
古屋委員長より概要が報告された。

一般事項

- ・平成20年度の事業部収支は概ね良好であった。
- ・平成20年度の出版物売上は、対年度予算比で学会直販：85%、丸善委託：106%であった。なお、次年度からはオウム社へ出版委託の予定。
- ・平成21年度の事業部予算(第四次案)は、第三次案から変更なしであった。
- ・事業企画賞に関して総務部より以下の意見があった。
 - 表彰対象件数は1~2件のように幅を持たせるべきではない。
 - 事務局が作成した案件を、事務局が表彰することに違和感を感じる。

出版企画委員会

- ・販売促進キャンペーン中の販売冊数は、過去4年間平均比364%と大きな効果があった。しかし、キャンペーンは毎年行うため、キャンペーン期間外の販売冊数減が懸念される。
- ・不良在庫処分として11,800冊の書籍を廃棄する。これにより倉庫管理費の節減効果(15万円/年)のほか、固定資産税の縮減効果がある。
- ・ショッピングカードのシステム改善により、カードでの決済が可能となる。本年6月からの運用開始を業者に要望しているが、困難な状況である。

4. 理事会報告：第1回(4/24)議事録、第2回(5/15)議題書 (資料21-2-3)
古屋委員長より概要が報告された。

第1回(4/24)

- ・公益法人化への移行は確定である。
- ・公益法人化に伴う定款変更案は、5月の総会ではなく8月の臨時総会にて審議・承認の予定である。
- ・60周年記念DVDは6月末に完成予定で、販売価格は98,000円で決定した。初版2000部作成。
- ・記念DVD販売に伴い、電子図書館を当面閉鎖する。再開する際に有料化へ移行する。

第2回(5/15)

- ・会員カードが磁器カードからプラスチック製のカードへ変更となる。カードリーダーも変更になるため、6月一杯は新旧リーダーを設定する予定である。

5. 事業部一般会計収支報告 (資料21-2-4)

古藤田事務局員より概要が報告された。

- ・予算額において『講習会人件費支出』が前年度に比べて大きく増加しているが、これは公益法人化に伴い管理費(事務局の人件費)を加えたためである。
- ・オンデマンドの支出は予算に計上していない。

6. H20年度講習会アンケート結果 (資料21-2-5)

- ・ オンデマンドに関する質問をアンケートに追加してはどうか、との提案があった。

審議事項

1. 平成21年度技術講習会 (資料21-2-7)

- ・ 現時点での講習会申込者の累計が前年度に比べて200人ほど少ないとの報告があった。
- ・ 『施工・維持管理に配慮した基礎構造物の計画講習会』は8月開催に間に合わないため、開催時期を変更する。
- ・ 『薬液注入工法の理論・設計・施工講習会』は開催月を11月から3月へ移動する。

2. 60周年記念「我が家を地震と水害から守る」講演会 (資料21-2-8)

- ・ 会場となる東京大学 武田ホールは収益事業を行うことはできないが、オンデマンドの撮影、書籍・購入申込書の設置は可である。
- ・ 講演者は概ね決まりつつあるが、数名変更の可能性がある。
- ・ 講師へビデオ撮影許可を得るため、オンデマンドの概要説明資料を事務局で作成する。
- ・ 宣伝・広告に対して以下の報告・提案があった。
- ・ 区の広報誌への広告掲載は、区の職員が講演を行わない場合は不可である。
- ・ 新聞（一般紙）への広告掲載は高価であるが、記事に取り上げられれば無料である。その方法は現在思案中である。
- ・ 駅にチラシを置いて貰うよう、鉄道総研から依頼してもらう。
- ・ 出費は全て関東支部が負担する。

3. H21講習会コース制に関する検討 (資料21-2-9)

- ・ 会告文の発信者名は、「技術普及委員会」だけでなく、「継続教育委員会」も併記してはどうかとの提案があった。
- ・ コース制修了者には、インタビューを行い学会誌へ掲載してみてもどうかとの提案があった。

4. 講習会オンデマンド化 (資料21-2-10)
(当日資料1)

- ・ オンデマンド講習会とIT講習会の混同を避けるため、それぞれの位置付けを明確にすべきである。

5. PR対策(H20年度アンケート結果を受けて) (資料21-2-11)

- ・ 雑誌「基礎工」への広告掲載は、あまり集客に寄与していないようである。今後、継続して広告掲載を行うかは、現在行っているDM発送の結果を見て判断する。

6. 委員の交代 (別添資料2)

- ・ 小林副委員長の後任として秦委員、山田委員の後任として栃尾委員が本日初出席。
- ・ 小林副委員長は次回委員会までオブザーバーとして出席する。

7. その他

- ・ 事務局の請求書の誤記載により、講習会費を2,000円少なく請求してしまった。不足分を再請求するも入金されないため、諦めることとする。

8. その他(事業部会への報告・審議事項)

報告事項

収支報告、60周年記念「我が家を地震と水害から守る」講演会、コース制、オンデマンド化

審議事項

H21講習会内容

次回委員会開催日 平成21年7月2日(木) 14:30~17:30